



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,219	△20.2	△368	—	△304	—	△437	—
25年3月期第2四半期	7,795	2.3	△107	—	△106	—	△193	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △363百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △241百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△28.81	—
25年3月期第2四半期	△12.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,512	25,823	81.9	1,699.32
25年3月期	31,936	26,308	82.4	1,731.26

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 25,823百万円 25年3月期 26,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,430	△6.5	△150	—	10	△96.1	△70	—	△4.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	15,721,000 株	25年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	524,734 株	25年3月期	524,734 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	15,196,266 株	25年3月期2Q	15,196,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府による積極的な経済財政政策を背景に、輸出、個人消費、設備投資ともに持ち直しの動きが見られ、景気は全般として改善傾向を示したものの、世界経済の動きは引き続き鈍く、今後の景気の先行きは、なお予断を許さない状況で推移しております。

このような環境のもとで、当社グループは新たな中期経営計画「Grow up 63」の基本方針「中期的な事業の成長を確保するため、新しい分野に対する『攻め』を徹底して行う」の実行と施策項目である「全社組織構造改革」、「新事業領域への展開」、「グローバル事業展開基盤の構築」、「損失計上分野の大胆な見直し」の実現を図るべく活動を行ってまいりました。

具体的には、合理化と新たな領域への展開を意図したユニット（ばね等）部門と産業機器（電磁アクチュエータ等）部門の組織統合、中長期を見据えた新事業開発組織の体制拡充、中国上海および香港の現地法人の組織人員体制の拡充、中国における製造委託体制の構築および拡充、製品原価の見直しおよび積極的なコストダウン活動等に取り組んでまいりました。

しかしながら、住生活関連機器の販売の増加はあったものの、検査計測機器の販売の大幅な減少の影響は大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,219百万円で、前年同四半期比1,575百万円（20.2%）の減収となりました。

利益面につきましては、販売の減少による粗利益の減少を補うべく、積極的なコスト削減による原価低減と経費の徹底的な削減に努めたものの、営業損失368百万円（前年同四半期は営業損失107百万円）、経常損失304百万円（前年同四半期は経常損失106百万円）、四半期純損失437百万円（前年同四半期は四半期純損失193百万円）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別の概況につきましては、第1四半期連結累計期間から、平成25年4月1日に実施した組織異動にともなう管理体制の変更により、前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット（ばね）製品の製造販売を「産業機器」に統合させる区分の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況につきましては、会社組織変更後の区分に基づき組み替えを行い、表示しております。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益又は損失（△）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	2,438	3,212	31.7%	△217	△115	－%
検査計測機器	3,449	1,096	△68.2%	119	△309	－%
産業機器	994	1,051	5.8%	25	86	234.7%
エクステリア	444	445	0.2%	△56	△41	－%
報告セグメント計	7,326	5,805	△20.8%	△128	△380	－%
その他	468	413	△11.7%	10	16	60.8%
セグメント間取引消去	－	－	－%	11	△5	－%
合計	7,795	6,219	△20.2%	△107	△368	－%

（住生活関連機器）

当セグメントは、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、引き続き、国内および中国オフィス市場向け新製品開発に積極的に取り組むとともに、中国製造委託体制の強化・拡充、海外調達の推進等グローバル化に対応した施策を進めてまいりました。また、医療・診療空間で使用されるストレッチャー等の販売促進活動に取り組んでまいりました。

この結果、首都圏オフィスビル供給増加にともなうオフィス家具需要の拡大等により、販売は拡大し、売上高は3,212百万円で前第2四半期累計期間比773百万円、31.7%の増収となりました。利益面では、販売単価の低下の影響はあったものの販売の増加にともなう稼働率の向上により、セグメント損失は115百万円（前年同四半期はセグ

メント損失217百万円)と赤字幅を縮小することができました。

(検査計測機器)

当セグメントは、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き、中国市場向け液晶検査装置および高機能フィルム向け検査装置の販売活動に注力するとともに、製品の競争力強化のための高速光学センサーおよび高速画像処理装置の開発に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第2四半期における販売は低調裡に推移し、売上高は1,096百万円で前年同四半期比2,353百万円、68.2%の大幅な減収となりました。利益面については、積極的なコスト削減により原価低減・経費の徹底的な削減に努めたものの、販売の減少による影響は大きく、セグメント損失は309百万円(前年同四半期はセグメント利益119百万円)となりました。

(産業機器)

当セグメントは、主に電磁アクチュエータ・ユニット(ばね)製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中国をはじめとするアジア地域での製造委託体制構築、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの生産立上げ、生産性向上を目的とした生産ライン現場の徹底した改善活動等に取り組んでまいりました。

この結果、主に織機向けの電磁アクチュエータ需要の回復等にもとない、売上高は1,051百万円で前年同四半期比57百万円、5.8%の増収となりました。利益面では販売の拡大にともなう工場稼働率の向上に加え、現場改善活動の効果等により、セグメント利益は86百万円で前年同四半期比60百万円、234.7%の増益となりました。

(エクステリア)

当セグメントは、主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた販売促進、販売施工体制の拡充等に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は前年同四半期比ほぼ同額の445百万円となりました。利益面につきましては、施工体制の拡充にともない受注採算が改善したため、セグメント損失は41百万円(前年同四半期はセグメント損失56百万円)と赤字幅を縮小することができました。

(その他)

当セグメントは、機械・工具および外構資材等の販売に関する事業を含んでおります。

当セグメントにつきましては、外構資材等の販売促進の強化等を行ったものの、機械・工具にかかる受注が低調に推移したため、売上高は413百万円で前年同四半期比54百万円、11.7%の減収となりました。一方、利益面では、採算性のよい製品分野の販売が増加したことにより、セグメント利益は16百万円で前年同四半期比6百万円、60.8%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は31,512百万円となり、前連結会計年度末と比較して424百万円減少いたしました。純資産合計は25,823百万円となり、前連結会計年度末と比較して485百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は81.9%と前連結会計年度末と比較し、0.4ポイント減少いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対し、将来に納入を控えている検査計測装置に係る仕掛品の増加等により仕掛品が1,174百万円増加する一方、現金及び預金が1,318百万円、受取手形及び売掛金が1,581百万円減少したこと等により、流動資産が1,640百万円減少し、19,094百万円となりました。固定資産合計は主に余裕資金の運用の増加および株式相場の回復にともなう評価の改善により投資有価証券が921百万円増加したこと等により、1,216百万円増加し、12,418百万円となりました。

負債の部については、主に支払手形及び買掛金が760百万円減少する一方、今後売上高の計上を予定する検査計測装置の大口案件にかかる代金の前受け増加にともない、前受金が992百万円増加したこと等により、負債合計は60百万円増加し、5,688百万円となりました。

純資産の部については、主に当第2四半期連結累計期間における四半期純損失の計上および剰余金の配当の支払にともなう利益剰余金の減少559百万円等により、純資産合計は485百万円減少し、25,823百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,305,911	10,987,682
受取手形及び売掛金	5,446,563	3,864,708
有価証券	351,781	351,399
商品及び製品	327,385	461,381
仕掛品	1,139,039	2,313,603
原材料及び貯蔵品	714,391	676,823
その他	449,826	438,440
貸倒引当金	△222	△21
流動資産合計	20,734,677	19,094,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,342,728	1,499,081
機械装置及び運搬具（純額）	464,070	417,124
土地	4,250,944	4,250,944
その他（純額）	267,079	281,248
有形固定資産合計	6,324,822	6,448,398
無形固定資産	305,377	291,737
投資その他の資産		
投資有価証券	3,046,993	3,968,966
その他	1,531,913	1,716,223
貸倒引当金	△7,085	△7,085
投資その他の資産合計	4,571,821	5,678,104
固定資産合計	11,202,021	12,418,240
資産合計	31,936,698	31,512,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,193,671	2,433,639
未払法人税等	30,194	23,829
前受金	110,167	1,102,888
賞与引当金	280,043	190,369
役員賞与引当金	4,800	—
受注損失引当金	128,129	117,495
その他	908,988	871,300
流動負債合計	4,655,995	4,739,522
固定負債		
長期借入金	342,495	287,493
退職給付引当金	418,099	422,391
役員退職慰労引当金	162,550	168,470
その他	48,896	71,060
固定負債合計	972,040	949,415
負債合計	5,628,036	5,688,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	22,112,548	21,553,125
自己株式	△272,421	△272,421
株主資本合計	26,211,444	25,652,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,781	162,809
繰延ヘッジ損益	△320	—
為替換算調整勘定	△13,243	8,489
その他の包括利益累計額合計	97,217	171,298
純資産合計	26,308,662	25,823,320
負債純資産合計	31,936,698	31,512,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,795,606	6,219,957
売上原価	6,608,746	5,256,727
売上総利益	1,186,860	963,230
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	328,179	330,234
賞与引当金繰入額	42,168	44,395
退職給付費用	32,329	27,460
貸倒引当金繰入額	△103	△200
役員退職慰労引当金繰入額	5,560	6,020
その他	886,399	924,115
販売費及び一般管理費合計	1,294,531	1,332,025
営業損失 (△)	△107,671	△368,795
営業外収益		
受取利息	20,387	19,294
受取配当金	10,124	11,333
為替差益	—	21,382
助成金収入	16,731	5,377
その他	19,157	11,950
営業外収益合計	66,400	69,338
営業外費用		
支払利息	2,027	2,117
固定資産除売却損	615	1,799
為替差損	56,792	—
コミットメントフィー	5,073	—
その他	972	673
営業外費用合計	65,482	4,589
経常損失 (△)	△106,753	△304,046
特別利益		
固定資産売却益	4,282	24
投資有価証券売却益	4,400	—
特別利益合計	8,682	24
特別損失		
投資有価証券評価損	133	50,921
特別損失合計	133	50,921
税金等調整前四半期純損失 (△)	△98,204	△354,943
法人税、住民税及び事業税	13,706	22,330
法人税等調整額	81,899	60,578
法人税等合計	95,605	82,909
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△193,809	△437,853
四半期純損失 (△)	△193,809	△437,853

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△193,809	△437,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,148	52,028
繰延ヘッジ損益	—	320
為替換算調整勘定	3,331	21,732
その他の包括利益合計	△47,817	74,081
四半期包括利益	△241,626	△363,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△241,626	△363,771
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△98,204	△354,943
減価償却費	227,550	229,555
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△151	△200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△78,638	△89,701
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,600	△4,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,021	3,960
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,360	5,920
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△139,580	△10,634
受取利息及び受取配当金	△30,511	△30,627
支払利息	2,027	2,117
投資有価証券評価損益 (△は益)	133	50,921
売上債権の増減額 (△は増加)	1,386,558	1,594,268
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,806,394	△1,269,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	△609,661	△769,403
前受金の増減額 (△は減少)	△930,090	991,907
その他	△24,315	△314,534
小計	1,512,571	34,686
利息及び配当金の受取額	30,975	29,338
利息の支払額	△1,989	△2,235
法人税等の支払額	△5,872	△26,310
法人税等の還付額	14,698	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,550,383	35,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△308,000	△3,652,000
定期預金の払戻による収入	168,000	3,492,000
有価証券の取得による支出	△201,600	—
有形固定資産の取得による支出	△167,430	△67,408
有形固定資産の売却による収入	5,867	670
投資有価証券の取得による支出	△24,437	△852,357
投資有価証券の売却及び償還による収入	828,090	—
その他	△35,062	△17,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	265,427	△1,096,385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,002
リース債務の返済による支出	△10,384	△12,737
配当金の支払額	△121,570	△121,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,954	△194,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41,020	26,988
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,582,835	△1,228,228
現金及び現金同等物の期首残高	9,255,764	11,665,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,838,600	10,437,682

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,438,452	3,449,197	994,150	444,990	7,326,790	468,815	7,795,606
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,442	8,216	3	7,416	21,078	103,528	124,607
計	2,443,894	3,457,413	994,153	452,406	7,347,869	572,344	7,920,213
セグメント利益又は損失 (△)	△217,501	119,022	25,812	△56,280	△128,946	10,198	△118,748

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・工具等の販売に係る事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△128,946
「その他」の区分の利益	10,198
セグメント間取引消去	11,076
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△107,671

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,212,180	1,096,140	1,051,747	445,897	5,805,966	413,991	6,219,957
セグメント間の内部売 上高又は振替高	21,609	1,380	16,168	1,619	40,777	132,535	173,312
計	3,233,789	1,097,521	1,067,916	447,517	5,846,744	546,526	6,393,270
セグメント利益又は損失 (△)	△115,131	△309,471	86,388	△41,965	△380,179	16,397	△363,782

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・工具等の販売に係る事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	△380,179
「その他」の区分の利益	16,397
セグメント間取引消去	△5,013
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△368,795

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成25年4月1日に実施したユニット部門と産業機器部門を統合する組織異動による管理体制の変更に伴い、従来「その他」の区分に含まれていたユニット部門を「産業機器」セグメントに含めて表示するセグメント区分の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しており、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」において組み替えて表示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。